

# 大松小学校 「学力向上実行プラン」

## 研究テーマ

主体的・対話的に課題を解決する力を伸ばす言語活動と板書やノート指導の充実

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	教務主任	研修主任・1年主任
5年主任		2年主任	3年主任
教諭		4年主任	6年主任

校長

真鍋 紀子



### (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す児童の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題に対して一生懸命に取り組む児童が多い。どの学年もその学年の学力を平均的に身に付けている。	①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ②読書量を増やし、文を正確に読み取ることができる。	全国学力調査、ステップアップテストで、平均正答率が県平均以上を目指す。 国語と算数のテストで、低学年は85点、中・高学年は80点以上80%を目指す。			
課 題 量と測定や図形について、知識・理解が十分でない。 読書量が少なく、長文を読み取る力が弱い。	①板書・ノート指導を充実させ、言語環境を整える。 ②読書の時間を確保し、いろいろな本を紹介したり、物語文だけでなく記録文や新聞などを読んだりする機会を設ける。	①1週間に全員のノートを点検する。 ②1週間に1回読み聞かせをしたり、一人でじっくり読書をしたりする。		評価	次年度における改善事項

### (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す児童の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 体験的な学習や課題を解決する学習に意欲的に取り組める。 小集団で話し合ったり教えあったり、自分の考えを発言したりするのは得意である。	相手や目的を意識して、根拠や理由を明らかにしたり、自分の考えと友達の考えを比べたりしながら発言するなど、自分の考えを豊かに表現することができる。	「自分の考えを意思表示したり、発言したりしている」と自己評価する児童を前年度より増やす。 「授業中話を聞いている」と自己評価する児童が90%以上を目指す。			
課 題 根拠や理由を明らかにして自分の意見を自信をもって発表したり、友達の考えと比較しながら発言したりすることに課題がある。 自分の考えや思いを文章で表現することに課題がある。	①学習活動の中で、友達と意見を交流したりする活動(ペア・グループ学習)を意図的に取り入れる。 ②自分の考えを文章に書く・表現する機会を意図的に設ける。 ③課題に応じた研究授業を実施する。	①ペア・グループ学習を1日に1回以上実施する。 ②根拠や理由を明らかにして自分の考えを表現する機会を1週間に1回以上実施する。 ③1人1回研究授業をする。		評価	次年度における改善事項

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す児童の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 目的があると、授業や家庭学習に真面目に取り組む児童が多い。	自ら課題を見つけ、積極的に学習に取り組み、自信をもつことができる。	「家庭学習に時間を決めて取り組んだ」と自己評価する児童が90%以上を目指す。			
課 題 言われたことはできるが、自分で課題を見つけることに課題がある。 自主学習を工夫したり、集めた情報をわかりやすく整理したりすることが十分ではない。	①児童の主体的な体験や活動を取り入れた授業をする。 ②「家庭学習の手引き」をわたし、適宜指導すると共に、学年便りや学級通信を通じて家庭との連携を大切にし、家庭学習の習慣化を図る。	①主体的な体験や活動を取り入れた授業を、学期に1回は実施する。 ②1か月に1回家庭学習について話し合い、見直す機会をもつ。また、様々な便りを通じて家庭にも発信する。		評価	次年度における改善事項

## 平成31年度(令和元年度) 学力向上ロードマップ

